

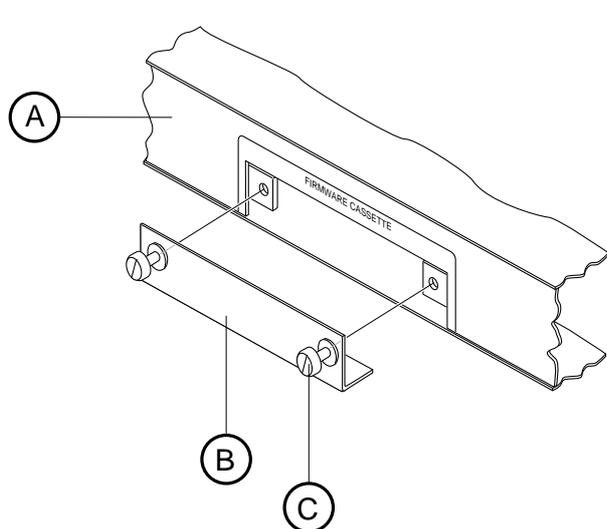
C36S4によるC3600 シリーズ・ファームウェアのアップグレード方法

アライドテレシス(株)

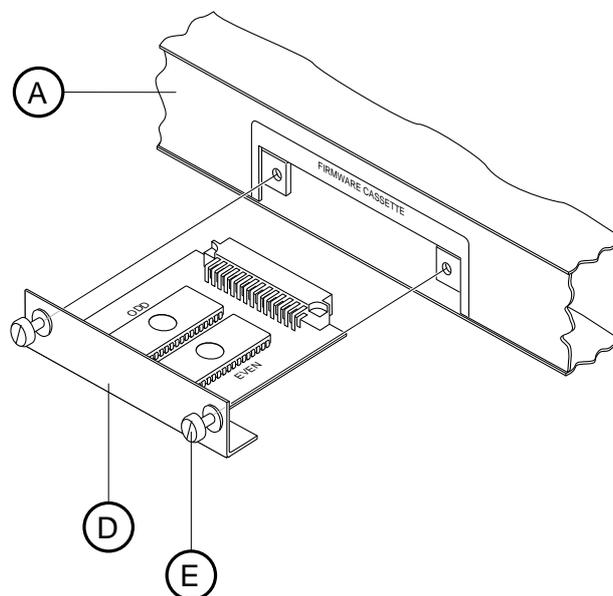
インテリジェント型マルチポートリピーター（ハブ）CentreCOM 3600 シリーズは、ファームウェアがカセット（C36S4）の形で供給されており、その内容を C3600 シリーズのフラッシュ ROM（不揮発性メモリー）にロードすることにより、管理機能などのインテリジェント化が実現されています。

出荷時において、C3600 シリーズにはあらかじめ“C36S4”の内容がロードされているため（但し、表示は日本語のみ）、3600 シリーズにファームウェアカセットは実装されておりません。下記の手順でファームウェアのアップグレードを行なって下さい。

- (1) 電源ケーブルがはずれていて、電源がOFFであることを確認し、ねじ (C) をゆるめ、ブラックパネル (B) を外して下さい。
- (2) ファームウェアカセット (D) を実装し、ねじ (E) をしめ、カセットを固定して下さい。
- (3) 電源ケーブルを接続し、電源がON状態になると、自動的にソフトウェアのバージョンアップが行われます。ネットワーク上の他のC3600シリーズのバージョンアップなどについては、C3600 シリーズに添付のマニュアル類を参照して下さい。



- (A) 3600 シリーズ背面板
- (B) ブラックパネル
- (C) 固定ねじ



- (A) 3600 シリーズ背面板
- (D) ファームウェアカセット
- (E) 固定ねじ

(注1) C36S4ファームウェアカセットを装着しているときのみ、内蔵ソフトウェアでの言語指定メニュー（英語、フランス語、etc.）が表示され、他言語への変更ができます。

(注2) セグメントドック（C36C7SG・C36E7SGなど）で使用する場合には、C3600シリーズのソフトウェアバージョンは3.1以上である必要があります。少なくとも、マスター機が3.1以上であることを確認してください。マスター機（一番上にスタックされるC3600シリーズ）が3.1以上でない場合は、3.1以上のC36S4を使用して、3.1以上にバージョンをあげてご使用ください。マスター機以外には電源投入時に自動的にマスターのソフトウェアがロードされます。

.....専用ラックで使用する際には、C36S4をセットしたまま運用しないでください。